

●執筆者紹介（執筆順、※は編者）

※吉田 徹（よしだ とおる） 北海道大学大学院法学研究科教授

担当：はじめに、序章、第5章、終章、コラム1

主要著作：『感情の政治学』講談社、2014年

『ポピュリズムを考える——民主主義への再入門』NHK出版、2011年

岩本 裕（いわもと ひろし） NHK ラジオセンター チーフ・プロデューサー

担当：第1章、コラム2、3、4

主要著作：『世論調査とは何だろうか』岩波書店、2015年

『朽ちていった命——被曝治療83日間の記録』新潮社、2006年

西田亮介（にしだ りょうすけ） 東京工業大学リーダーシップ教育院准教授

担当：第2章、第4章、コラム5、7

主要著作：『メディアと自民党』角川書店、2015年

『ネット選挙——解禁がもたらす日本社会の変容』東洋経済新報社、2013年

三輪洋文（みわ ひろふみ） 学習院大学法学部准教授

担当：第3章、コラム6

主要著作：“Can Reshuffles Improve Government Popularity? Evidence from a ‘Pooling the Polls’ Analysis,” *Public Opinion Quarterly*, Oxford University Press, 2018.

“Values Preferences and Structures among Japanese Voters and Political Candidates,” *Japanese Political Science Review*, Japanese Political Science Association, 2018.